

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和7年10月23日（木）

2 確認箇所

- ・1号機原子炉建屋（1／2号機高圧開閉所）（図1）
- ・コンクリートプラント建設予定地（図1）

3 確認項目

- （1）1号機原子炉建屋大型カバー設置状況
- （2）コンクリートプラント設置工事の状況

4 確認結果の概要

（1）1号機原子炉建屋大型カバー設置状況

1号機原子炉建屋からの使用済燃料取り出しは、建屋全体を覆う大型カバーの設置後に実施する計画としている。10月12日にボックスリングの設置が完了し、現在、可動屋根の設置に向けた準備作業が行われている。

一方、令和7年6月16日にクローラークレーン（以下「クレーン」という。）でボックスリングを1号機原子炉建屋東側へ設置している際に、クレーンの巻き下げ操作ができない事象が発生した。また、同月27日にはクレーンのバランスをとる重りを調整するシリンダーの動作不良が確認されたため、一時的に設置作業を中断した経緯がある。これら不具合に対する原因究明及び対策が講じられ、7月19日に作業再開となっていることから、今回も作業が継続している大型カバー設置の状況について確認した。（前回確認：[令和7年9月25日](#)）

- ・ボックスリングの設置が完了していた。（写真1）
- ・建屋西側の上部架構の一部は塞がれておらず、内部で作業している重機を確認することができた。（写真2）

（2）コンクリートプラント設置工事の状況

東京電力は、固体廃棄物貯蔵庫第11棟を始めとする廃炉関連施設の建設工事を円滑に進めるため、福島第一原子力発電所敷地の近傍にコンクリート製造を行う新たなプラント（以下「コンクリートプラント」という。）を設置する計画としている。

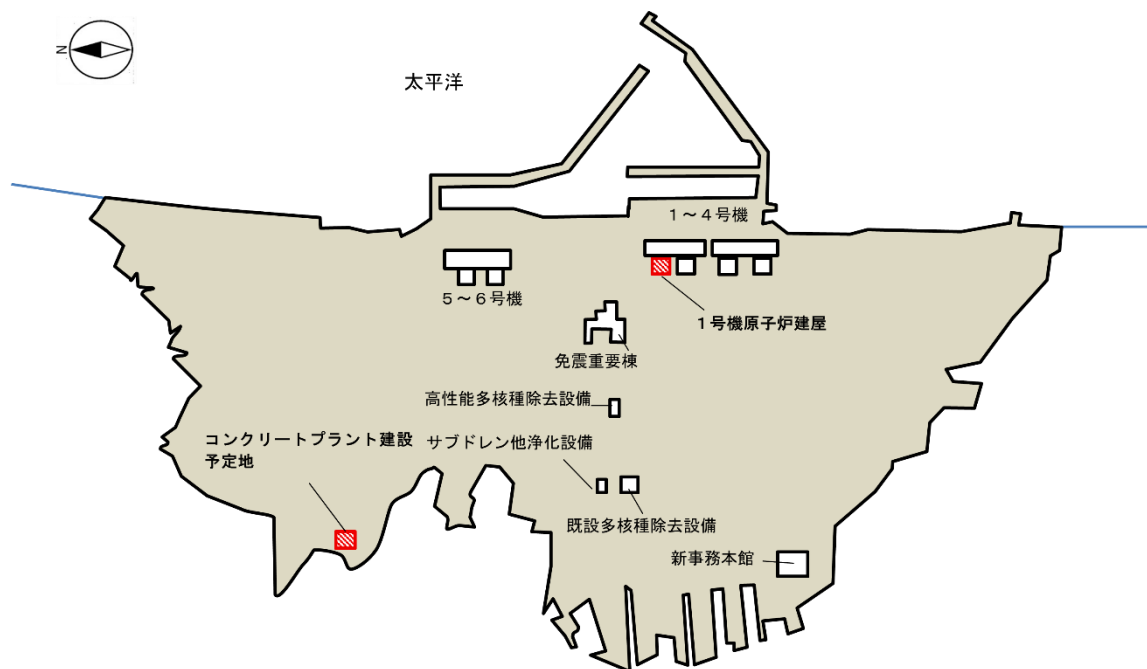
今回は、コンクリートプラント設置工事の状況を確認した。（前回確認：[令和7年9月10日](#)）

- ・コンクリートプラント建設予定地において、骨材貯蔵設備^{※1}及びバッチャープラント^{※2}の設置作業が進められていた。骨材貯蔵設備では、地上

でコンベア設備の組立作業が行われていた。また、バッチャープラントでは、コンクリートサイロ及び貯水タンクの設置工事が進められていた。(写真3及び4)

- ・ クレーン作業は玉掛け者と合図者が連携して実施しており、安全に作業が進められていた。
- ・ 建設現場には、ベルトコンベア等の資機材が仮置きされていた。資機材の散逸はなく、整理整頓が行き届いていた。(写真5)
- ・ 敷地東側において、管理棟の設置工事が進められていた。当日は内装工事が行われていた。(写真6)

※1 骨材貯蔵設備：コンクリートの主原料となる砂や砂利などの骨材を一時的に保管する設備。
※2 バッチャープラント：骨材、セメント、水及び混和剤などを所定の配合で混合し、コンクリートを製造する設備。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1) 大型カバー全景



(写真2) 上部架構開口部の状況



(写真 3 ①) 骨材貯蔵設備の設置状況



(写真 3 ②) コンベア設備の組立作業



(写真 4 ①) バッチャープラントの設置状況



(写真 4 ②) 貯水タンクの設置状況



ベルトコンベア
のカバー

(写真 5) 資機材の仮置き状況



(写真 6) 管理棟の設置状況

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常値は確認されなかった。